

# 「家がいいね」 第248号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2025.1.4



大晦日に外宮に参拝し、篝火で餅を炙って息災を感謝するのが例年だが、旧年は諸事情で控えることになった。すると娘の一家が、タイミングよく大篝火の点火の時間に参宮し、松明での分火も写真で送ってくれた。餅を炙るためには熾火が底に溜まらなければならぬ。人々が周りを囲うのは小一時間後のこと。大晦日の夜は静かに更ける。

## 今年の干支は、巳年。「へびの物語」

へびと医療は意外に近いものらしい。杖に一匹のへびが巻き付いたものを「アスクレピオスの杖」と言い、ギリシャ神話の名医の逸話がある。へびに驚いた彼が杖で撃ち殺すが、仲間のへびが薬を飲ませて蘇生させた。杖にからむへびの螺旋形は、生命力の象徴となっている。へびが二匹からみ、杖に翼がつくと「カドウケウス」と呼ばれます。平和・医療・医学・医師等を象徴します。各界のシンボルマークの部分ともなっています。へびの螺旋はDNA

の2重螺旋にも似るのは、不思議です。人は蛇には好き嫌いを感ずますが、賢い生物であるのは事実です。



## ココロの部屋は、いったん閉じました

榊原心理士の都合と退職が重なり、12月中でカウンセリングは終了しました。皆様は個別に相談されていると思いますが、クリニックとしての窓口と問い合わせ等は、遠藤が担当しております。在宅には今後も心理的支援は必要です。病名を知った時の動揺に始まり、家族間の感情の調整、病状が進む時の心の支え、そして別離があった後の家族の悲嘆の受容など多くの役割があります。そのような支援のココロは、資格が無くても、当クリニックの職員なら必要な資質でしょう。

## 遠くを見て、ココロときめかせましょう

子どもがじっと見つめる遠くには、希望がある。メディアやSNS情報は、現場からと言いつつ邪悪な画像も理由付けし即座に垂れ流す世情です。騒音から逸れて遠くを眺めるなら、この世の中は静かに流れる物で溢れ満ち足りているにちがいない。「あなたも、私も生きているのに働する」善であることが、間違はなく最も大事なことです。

## 臨時休診のお願い

2月22日(土)は、遠藤が出張し、外来休診します。在宅の患者様は大久保が担当します。厳冬です。「自愛下さい」。



自宅での人生を  
最期まで支援します

〒516-0805  
三重県伊勢市御園町高向 927  
電話 0596-20-8104  
ファクス 0596-20-8105  
メール [homecare@kr.tep-ip.or.jp](mailto:homecare@kr.tep-ip.or.jp)  
<https://isezaitaku.com>



→バックナンバー閲覧可